



# かがやき

山形市立第一小学校  
学校だより 第3号  
R2.6.30発行  
校長：田所 昭裕  
児童数 225名  
(6月30日現在)

## 感謝の気持ちで

# 新しい学校生活を始めよう！

学校が全面再開されて約1ヶ月、6月23日(火)には今年度始めて全校児童が体育館に集まり、朝会を行いました。

校長講話では、世界中ではまだまだ感染者が増え続けているという事実を伝えながら、発想を切りかえ「新しい学校生活を始めよう！」と提案しました。これまでもお伝えしてきた3点がポイントです。



### 1. 感染予防に努める

正しい手洗いや必要に応じたマスク着用、そしてソーシャルディスタンスに配慮した生活を常に心がけることで、感染予防に努めます。

### 2. 「くらし」をつくる

規則正しい生活に加えて、係活動や委員会活動などを通して「みんなのために」行動する心地よさを実感して欲しいと考えています。子どもたちにとって学校は社会そのもの、「お互いさま」の精神でみんなが気持ちよく生活できる社会にしたいものです。毎日の「あいさつ」も、気持ちを通わす大切な行為ですね。

### 3. 「学び」をつくる

何と言っても、学校は学びの場です。毎日の学習の中で、仲間と知恵を出し合い「する」「できる」「わかる」「気づく」楽しさを積み重ねる中で、自分から進んで学習に向かって欲しいと考えています。

## お子さんの学校生活はいかがでしょう？

ご案内の通り、学級懇談会を7月17日(金)に、個人面談を夏休みに入った8月3日(月)から5日(水)の午後に予定しております。

長期休業の影響で、学校再開後もなかなかリズムに乗れなかったり、これまでと違った子どもの行動に不安を抱えたりされている方はいないでしょうか？

本校では、「できるだけ早い時期に相談できる関係をつくる」ことを大切にしたいと考えてきました。学校でも注意深く見守って参りますが、お子さんのことで気になることや心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。

夏休みまでは、学習参観も難しい状況です。学年・学級便りや学校のHP等も使いながら、学校生活の様子をお伝えするよう努めて参ります。

# 「わ」をつなぐ奨学会活動

今年度は奨学会の総会も書面決議となってしまいましたが、学校の再開を受けて6月9日（火）に臨時の拡大評議員会を開催し、今後の奨学会の運営について協議しました。

席上、松田会長から、『わ』をつなぐの基本方針のもと、コロナ禍の中で「緊急を要するもの以外は控える」「子どもたちの学校生活をサポートする」そして、「ネットワークを使った取り組みにも挑戦する」一年にしよう、との話がありました。

8月の花笠祭りやサマーフェスティバルが中止になったことや3密への対応が難しい事などを提案して、今年度の夏祭りを中止する事としました。

一方で、この状況だからこそできる事はないかを模索したいとの話題も出され、球技大会を予定していた10月17日（土）を軸に検討いただいております。また、各専門部会では、第一だよりの発行（文化部）街頭指導・エコデーの協力（生活部）読み聞かせの会・お譲り会の準備（母親委員会）などの取り組みを進めています。

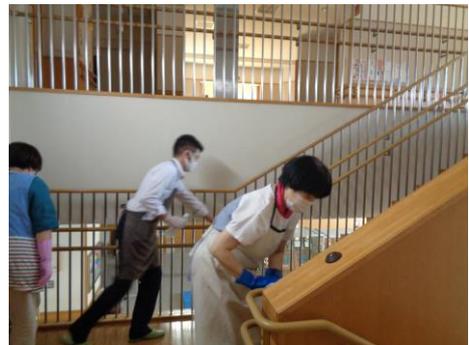
当日の会議にはオンラインで参加された部長さんもあり、その可能性を実感することができました。



## 「消毒サポーター」ありがとうございます

校内の消毒作業が先生方の学習準備等の時間に影響を与えているという話をしたところ、奨学会の皆様からお手伝いの申し出をいただきました。

そこで、2週間のお試しとして、急遽3年生以上の皆様をお願いしたところですが、毎回10名程の皆様の手すりやスイッチ、ドアノブ等の消毒作業をしていただき、本当に助かっております。いざという時に、子どもたち、そして学校をしっかり支えてくださる山一小的奨学会を、とても心強く感じております。改めて感謝申し上げます。



## 「状況に応じた柔軟な決断を！」学校評議員会

6月25日（水）に今年度の第1回学校評議員会が開催されました。伝統的な教育活動が多い本校ですが、このような現状だからこそ、過去にとらわれることなく新たな発想に立って柔軟に教育活動を進めて欲しいとの意見を頂戴しました。

【今年度の第一小学校学校評議員の皆様方】

- ①和田 英光 様（おやし日本山形代表）
- ②高橋 栄美子 様（さゆり幼稚園園長）
- ③武田 信博 様（第一地区社会福祉協議会会長）
- ④和合 成治 様（前敬学会理事長）
- ⑤吉田 昇 様（体育振興会会長、同窓会会長）
- ⑥田宮 博行 様（第一地区民生委員協議会会長）
- ⑦松田 光晴 様（奨学会会長）

